

第1学年〇組 「特別の教科 道徳」学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時
授業者

1 主題名 友達を想う 【内容項目B 友情、信頼】

2 ねらい 主人公が、友達を思い行動した姿について考え、話し合うことを通して、友達とよりよい関係を築いていこうとする心情を育てる。

教材名 二わのことり （東京書籍 「新しいどうとく」）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本時は、小学校第1学年及び第2学年の内容項目「友達と仲良くし、助け合うこと。」に関するものである。内容項目は、第3学年及び第4学年の「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。」につながっていく。

人は、様々な人間関係の中で社会生活を送っており、1人で生きていくことはほぼ不可能であると考えられる。1年生の児童も、入学をしてから学校生活を送る中で、少しずつ人間関係の輪が広がってきた。

本校では、1年生の道徳の学習において今回の内容項目は年間2回行う計画になっている。そこで、本時の前に「こころはっぱ」の教材を取り上げ、授業を行った。そこでは、友達と進んで関わることの良さについて考えさせた。友達の一言で救われた主人公の姿を通して、優しさを言葉や行動に表すことの大切さを感じたようだ。そこで、今回の授業では、主人公の「みそさざい」の行動と心情を通して、友達とは何かを考えさせ、友達とよりよい関係を築いていこうとする心情を育てたい。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、入学してからどんなことにも意欲的に取り組んできた。初めての学習、初めての行事に目を輝かせながら取り組んでいる。友達との関わりにおいても、大変積極的である。分散登校中から、会うことができないクラスメイトに想いを馳せ、全員が揃って学校生活を送ることを心待ちにしていた。2学期に入ってからは、グループごとに学習発表会をしたり、調べ学習を行ったりと学級の仲間と協力して学習に取り組む機会が多くなった。休み時間には、ほぼ毎休み時間、全員で鬼ごっこやドッジボールをし、活発に遊んでいる様子が見られる。友達と生き生きと活動し、少しずつ友達の輪が広がってきた。本時の授業を通して、誰もが周囲の人を大切にする気持ちを持っていることに気がつくことができたら、より前向きに友達と関わり、今よりもよりよい友人関係を築こうとする心情をもつことができると考える。

道徳科の授業においては、悩みながらも挙手をし、発表する様子、友達の考えを聞いてうなずいている様子などから、毎回の授業に真剣に取り組む、深く考えようとしていることが伝わる。これらの児童の実態を大切にし、本授業では、「相手のことを大切にし、自分の真心を届ける」ことについて考えさせることで、友達と関わることの良さや楽しさを実感し、よりよい人間関係を築こうとする児童の育成につながっていくと考える。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公の「みそさざい」がやまがらに誕生日会に誘われたものの、にぎやかで物質的にも魅力のあるうぐいすの家に行ってしまう話である。しかし、「みそさざい」は、一人ぼっこのやまがらのことが気になり、途中でパーティーを抜け出し、やまがらの誕生日を祝いに行く。「みそさざい」の行動と心情を通して、友達とよりよい関係を築こうとする気持ちについて考えることのできる教材である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合う。

- ① うぐいすの家とやまがらの家の様子
うぐいすの家に行きたいと思うみぞさざいに共感させる。
- ② うぐいすの家にいるみんなは仲良しなのか
やまがらを放っておいて、自分のことしか考えていないみぞさざいの気持ちをおさえていく。
- ③ みぞさざいが「ああ、やっぱりきてよかった。」と思った場面
相手の笑顔や喜びが自分の喜びにつながっていることに共感させる。

4 令和〇年度の成果と課題を受けて

昨年度〇月〇日の研究授業において、指導者の先生から「道徳科の授業は、物語の主人公の仮面を被って自分の本音を話すことが大切である。」とご指導をいただいた。そこで、物語の世界に入りやすくするために、場面図を大きく提示し、登場人物を動かしながら状況整理や主人公の心情を追っていくように学習活動を設定した。

また、「Listen&Talk」の観点からペア学習を取り入れ、積極的に交流を図り、自分の考えを深められるようにしていきたい。

5 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の心の動き	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 内容項目の本質を問う ・友達を大切にするとはどういうことですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊ぶ ・優しい言葉をかける ・困っていたら助ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいとする道徳的価値に迫る。
展開	2 教材を読み、話し合う。 (1)うぐいすの家とやまがらの家の対比をする。 ・うぐいすの家とやまがらの家どのような様子ですか。 ・みんなが仲良くしているほうはどちらですか。 ・どうしてうぐいすの家は仲良しとはいえないのですか。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> うぐいすの家 ・あかるい ・きれい ・みんなが集まっている </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> やまがらの家 ・とおい ・さびしいところにある ・誕生日なのに一人ぼっち </div> <ul style="list-style-type: none"> ・うぐいすの家かな ・うぐいすの家だと思うけど、なにか違う ・うぐいすの家にいる人たちは楽しいのかな ・本当に仲良しとは言えない ・やまがらのことを無視しているから ・自分のことしか考えていない人たちの集まりだから ・みぞさざいはやまがらのことを気にかけているから 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物、設定場面などについてあらかじめ説明をし、教材文の世界に入りやすくする。 ・うぐいすの家とやまがらの家を対比させ、うぐいすの家が物質的に魅力的であることに気がつかせ、共感させる。 ・うぐいすの家は魅力的で楽しそうであるけれど、違和感があることに気がつかせる。 ・自分のことしか考えられていないみぞさざいの気持ちに気がつかせる。

	<p>(2)みそさざいの心情を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みそさざいはどのような気持ちで向かったのですか。 ・みそさざいは、どうして「ああ、やっぱりきてよかった。」と思ったのですか。 <p>3 自己を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達を大切にするとはどういうことですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早くいかになくちゃ ・やまがらはどうしているかな ・まだ間に合うかな ・やまがらが笑顔になったから ・やまがらが喜んでくれたから ・助け合う ・相手のことを考える ・優しくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考え、行動した、みそさざいの気持ちの変化に気がつかせる。 ・相手の笑顔や喜びが自分の喜びにも繋がることに共感させる。 ☆みそさざいに自分を重ね、自分の考えを持っている。(発表・つぶやき) ☆友達との関わりの中で、よりよい関係を築こうとしている。(発表・つぶやき・ワークシート)
終末	4 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・友情を深めることによって、得られるものがあった経験を聞くことによって、よりよい人間関係を築こうとする意欲を高める。

6 他の教育活動との関連

事前指導	<p>(6月 学級活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところを見つけて、仲良く生活しようとする態度を育てる。 <p>(10月 運動会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会での学年種目や全校種目を通して、互いに尊重し合い、思いやりの心をもって接する態度を育てる。 <p>(6月～3月 帰りの会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の気持ちを考えた言動を見つけ、発表する。
特別の教科 道徳	<p>(11月)</p> <p>主題名 「友情、信頼」</p> <p>教材名 「二わのことり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みそさざいが悩む場面を自分に当てはめて考えることを通して、友達のことを考えて行動する大切さに気づき、友達と仲良くし、思いやりをもって助け合っていくようとする心情を育てる。
事後指導	<p>(1月 音楽会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱の練習を通して、友達と一緒に歌う楽しさを感じ取り、友達と仲良く助け合っていくようとする心情を育てる。 <p>(6月～3月 帰りの会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の気持ちを考えた言動を見つけ、発表する。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業内容や児童の様子を「道徳だより」で紹介し、友達との関わり方について話題にしてもらう。

・児童の考えや思ったこと等を教室内の「道徳コーナー」に掲示し、保護者会で来校される際に見てもらう。

7 板書計画



8 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・みそさざいに自分を重ね、自分の考えをもっている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・友達との関わりの中で、よりよい関係を築こうとしている。